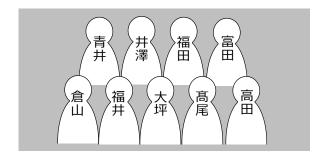
エンジニアリング、マニュファクチュアリング、メンテナンス

2021年度 役員新体制

当社の今年度の役員が決まり、新体制がスタートしました。東レグループの企業理念である「わたしたちは新しい価値の創造を通じて社会に貢献します」を基本に、これまで以上に役員責務の明確化と連帯性の緊密化、決定のスピード強化を促進します。

また東レ・東レエンジニアリンググループのより一層の連携・協同を進めるとともに、外部事業のさらなる発展に向けた各課題に取り組んでいきます。すべてのステークホルダーの方々とともに成長していく企業を目指していきたく、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

| 代表取締役 | 大 坪 伸 光 | 社 長 |
|---------|--------------|-------------------------|
| 代表取締役 | 髙尾克幸 (非常勤) | |
| 常務取締役 | 福井以知郎 | エンジニアリング事業本部長、同本部施設事業部長 |
| 取締役 | 高田昌彦 | 管理·調達部門長、同部門調達部長、滋賀事業場長 |
| 取締役 | 倉山恭一 | 保全事業本部長、愛媛事業場長 |
| 取締役[新任] | 富 田 浩 史(非常勤) | |
| 取締役[新任] | 福 田 義 之(非常勤) | |
| 取締役 | 井 澤 宏 (非常勤) | |
| 監査役 | 青井久幸(非常勤) | |

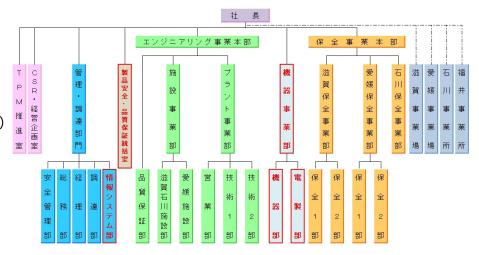




組織変更

7月1日付で組織変更を行いました。「ものづくり事業」の拡大へ向けた設備投資や人材確保・育成をより加速させるため機器事業部をエンジニアリング事業本部から独立させました。東レエンジニアリング(以下 TEK)のメカトロファインテック事業本部との連携をより一層強化し、TEKグループものづくり事業の一翼を担います。

また、製品安全・品質保証統括室を新たに設置し、TEKグループでの連携と全社



横断の製品安全・品質保証活動の推進と管理体制を構築していきます。さらに、*DXの整備推進を効率化するため、管理・調達部門内に専門部署として情報システム部を新設しました。

(*デジタルトランスフォーメーション)

業績説明会開催

6月2日、3日、4日に4拠点(滋賀、愛媛、福井、石川)6会場で、業績説明会を開催し、2020年度の業績、 今年度の予算、事業環境等について、社長から従業員に説明がありました。

参加した従業員からは多くの質問があり、社長と従業員との貴重な意見交換の場となりました。

(担当部署:総務部 Tel:077-534-0956)



6月2日 愛媛事業場 (愛媛松前事務所)



6月3日 福井事業所



社長と従業員の質疑応答



6月3日 石川事業所



6月4日 滋賀(本社)



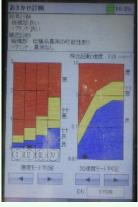
保全事業 豆知識5 『回転機器の簡易診断』

工場の設備には、駆動系にモーター・減速機・ロールなど回転機器が数多く設置されています。回転機器の軸受や歯車が損傷すると、設備トラブルとなります。そこで愛媛保全事業部では、低速回転(60rpm 以下)の軸受には『グリース鉄粉濃度計*1』を活用し、また中速以上の回転機器については『ポータブル振動診断器*2』を活用し、低速~高速まで幅広く回転機器の簡易診断を行っています。この簡易診断により、異常を早期に発見し、計画的な修理を行うことで設備トラブルを未然に防いでいます。固定センサーによる連続監視も実施していますが、簡易診断は設備費抑制や低速回転機の診断などに有効です。

- *1『グリース鉄粉濃度計』: 測定原理に磁気バランス式電磁誘導法を使用し、グリース中の鉄粉濃度を測定して、軸受や歯車などの摩耗状態を点検するための簡易診断器です。グリース補給時に排出される排グリースをサンプル容器に採取することにより、簡単に鉄粉濃度を測定することができます。
- *2『ポータブル振動診断器』:回転機器の振動を解析し、異常原因を特定します。本器は「おまかせ診断」機能を搭載しており、おおよその回転速度(高/中/低)を入力するだけで、自動で簡易診断と精密診断を行うことができます。



*1 グリース鉄粉濃度計





*2ポータブル振動診断器